

県広報

特集 / 県政、この一年

県庁探訪 / 情報企画課

ふるさとみてある記 / 氷見市

とやま



1992
No.287

12

県立総合衛生学院の戴帽式での能登真理子さん、京谷絹代さん、姫野倫子さん(左より)



西の方

エッセイスト
八木 孝子

秋も深まった日のことである。仕事の帰り道、富山駅前前で用事を済ませてビルの外へ出ると、あたりは日暮れのけはいを濃くしている。早く帰って夕食の準備をしなければと心は焦るのに、横断歩道の信号は赤に変わった。ふと見ると、私の横で、背の高い年輩の男性が高校生に何か尋ねている。傍にはつれあいらしいこぎれいな身なりの女性が立っていた。その高校生は、げんそうな面持で首をかしげている。老夫婦が道を尋ねているらし



いと思った私は、声をかけた。「どちらへいらっしゃるのですか?」「西の方へ行きたいのですが、電車乗り場はどこらでしょうか。」「町を見物したいんです。」「駅前の市電の停留所には、『大学前』と行先表示した電車が一台止まっていた。」「電車乗り場は、この横断歩道を渡ると、すぐそこです。にぎやかな町でしたら、今止ま

っている電車の向い側の乗り場でお待ちください。『南富山』行きという電車が来ます。それに乗って、『西町』という停留所で降りられるといいですよ。」「あ、それ、それ、西町でした」と、その人は納得したように顔をほころばせた。西の方というのは、実は、西町のことだったのだ。「どうもありがとうございます」と言いがら、その夫婦は、私に両手を合わせて拝むように深々と頭を下げた。目の前の電車乗り場を教えたあげただけなのに、畏れ多くもこのような感謝を受けて、私はちょっと照れながら、住んでいる者にとっては何気ないことでも、旅人にとっては大きな情報になるのかなど、自分が他の土地を旅する時のことを思い比べて思った。それにしても、感謝の気持ちを合掌のしぐさで表わすことが新鮮に感じられた。七十代と思われる品のいい夫婦は、立山を訪れた他県の方だろうか。彼らの後ろ姿を見送りながら、心にはぼつと灯りがともったような気持ちで家路を急いだ。

その夜の夕食の話題にこの話をのせると、「その人たちには、お母さんが仏様のように見えただよ、きつ」と、という息子の傍らから「俺なら、『西の方』と聞けば大学前付きの電車を教えていたなあ。お前は方向音痴でよかったよ。」と夫。彼らは西町を、そして富山を楽しんでいくてくださっただろうか。

ひと
アズ
とやま



透明感に魅せられて

国際ガラス展・金沢'92藤田喬平賞受賞 竹内綾音さん

「ガラス工芸の第一人者の名がついた賞をいただけることは、これからの創作活動に大変はげみになります。国際ガラス展・金沢'92(同開催委員会主催)で、世界三十八ヶ国、七百人を超える応募の中から銀賞に次ぐ藤田喬平賞を受賞した、富山ガラス造形研究所二年生の竹内綾音さんに、受賞の感想を伺いました。」

受賞作の題は「風の景」。高さ四十七センチ程で、淡い水色のグラデーシヨンとガラスの透明度が調和した美しい作品です。初応募での快挙にも、「とまどいが先行してなかなか実感がわいてこなかった。」とのこと。

竹内さんは静岡県出身で、高校時代は美術デザイン科で平面デザインを、短大では陶芸を専攻していたそうですが、次第にガラスの透明感に魅かれていく自分を抑えることができず、当時開校したばかりのガラス造形研究所に一期生として入学。それが、本格的にこの道に入る第一歩になったそうです。現在は親元を離れて、富山で一人暮らしの生活。

「両親はこの道を選ぶ時、特に反対はしませんでした。『ハメをはずすな』『人に迷惑をかけるな』これさえ守れば、好きなことをやりなさいと言ってくれました。両親に感謝しながら、この二つの言葉を胸に刻んでいるという竹内さん。

来春の卒業に向けて、現在は卒業制作に大わらわの毎日。休日返上で研究所に通い続けています。

「将来は、ガラス造形作家になることが夢ですが、今は卒業制作のことで頭がいっぱいです。テーマは『ひび割れ』でガラスとはマッチしないと思われる題材をあえて選ぶことによって、新しい作品を生み出していければと考えています。」

とても生き生きとした表情で抱負を語る竹内さん。

これからも、一歩一歩着実に可能性を追い続けて行きます。



▲受賞作「風の景」





TOYAMA バイオフェア'92
バイオテクノロジーセミナー〈講演会・研究事例発表会〉



楽しさがギューとつまった秋の一日

丘の夢牧場ビーフフェア'92●開催

十月十一日、富山県肉用牛センターで「丘の夢牧場ビーフフェア'92」が開催され、約三千人が牧場での一日を楽しみました。

このビーフフェアは、とやまの肉牛のおいしさと牧場のすばらしさを楽しんでもらい、多くの人に畜産に対する理解と関心を深めてもらう目的で開かれ、このセンターで育てられた黒牛の肉を使った二百グラムのステーキ六百食分と焼肉三千食が用意されました。

炭火を使ったバーベキューコーナーは、柔らかくておいしい「とやま牛」の味を楽しむために訪れた人では、用意された肉は、ほぼ完売されました。食べた後は、地元青年らが作った幌牛車「紋次郎」に乗って場内を一周し、立山連峰と富山平野を一望できる景色を楽しんでいました。このほか、地元婦中町の特産品や不用品を販売するフリーマーケットなども設けられ、牧場内には一日中にぎやかな声が響いていました。



幌牛車
「紋次郎」

バイオテクノロジー をやさしく解説

TOYAMAバイオフェア'92●開催

TOYAMAバイオフェア'92が十月十七、十八日の二日間にわたり、富山市のCICビルで開催されました。

同フェアは、記念セミナー、パネルや製品の展示によって、バイオテクノロジーをわかりやすく解説しようとしたもので、県内では初めての開催。

テープカットの後の記念セミナーでは、富山医薬大の荻田善一教授の「やさしいバイオテクノロジー入門」を皮切りに、専門家たちによる講演が続きました。

一方、展示コーナーでは、バイオ技術を医薬品に応用したものや、稲の品種改良に取り組んだ事例などが、初心者にもわかりやすく図解・解説されていました。

また、県立中央農業高校の生徒たちが、バイオ技術を用いて育てたシンビジウムを来場者に無料配布し、身近な素材を使ってのバイオテクノロジーの理解に一役買っていました。





バラエティに富んだ技の成果を一堂に

第26回職業能力開発フェア●開催



「じ・ぶ・ん・パワーアップ」をスローガンに、「県職業能力開発フェア」が富山市向新庄の富山職業能力開発カレッジを会場に十月三十、三十一日の両日開催されました。

フェアは、技能尊重の気運を広く社会に醸成するとともに、県内の職業能力開発の実施状況を広く理解してもらおうと毎年開催されており、今年で二十六回目を数えるものです。

会場では公共職業訓練校など県内二十七の職業能力開発施設の訓練生や県技能士会連合会のメンバーが作った木彫・鋳物置物、整理棚、苗木など百五十種類、約三千点の手作り製品が展示・即売されたほか、ネクタイピン、ブローチの制作、土人形絵付けなどの技能体験教室も開催され、人気を集めていました。また、現代の名工として認定されている県内の優れた技能者の作品を集めた「富山県卓越技能院展」では、全国に誇る富山県の名工たちの熟練した技が多く参加者の目をひきつけていました。

高齢福祉サミット

これからの高齢化社会、マンパワーを考える



心豊かな長寿社会を考える

高齢福祉サミット●開催



高齢化社会の問題を考えようと「高齢福祉サミット」が十月二十二日、富山市の県民会館で開催されました。これは第五回健康と長寿の祭典の行事の一つで、看護学生や保健婦、福祉施設の寮母ら約三百人が参加しました。

サミットでは、「これからの高齢化社会、マンパワーを考える」をテーマに、まず、コーディネーターの大泉博子総務庁長官官房参事官から「高齢化社会を迎えて、ますますプロのマンパワーが求められています」と高齢福祉についての概要説明がありました。次に、井上千津子全国介護福祉士・介護福祉研究会会長ら福祉、保健、医療、行政各部門の六人の女性シンポジストによる意見発表が行われました。

その後、発表者による活発な意見交換が行われましたが、参加者はメモを取りながら、熱心に聴き入っていました。

かな人材の育成を図るとともに、七月に、清子内親王殿下をお迎えして国際青年の村'92を開催し、国内外から多くの青年を迎え、相互理解と友好親善を深めました。

長 寿・余暇社会への対応

高齢者の生きがいや健康づくり施策を推進するため、いきいき長寿財団の機能の充実や老人クラブ活動などを支援しました。また、頼成の森やとやま・ふくおか家族旅行村の整備を進め、余暇時間を活用できる環境づくりに努めました。

魅力ある郷土づくり

快適な暮らしの実現

とやま環境計画を策定し、とやま環境財団の活動を支援したほか、七月には、エキスポとやま博の開催を契機に、JETクリーン運動を展開し、環境保全や県土美化に努めました。

また、県民生活の安全と平穏を確保するため、富山県暴力追放運動推進センターを設立し、暴力団対策を強化しました。

魅力ある地域づくり

七月には、第一回ジャパンエキスポ富山'92が秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもとに開幕。これまでの博覧会のイメージを一新した統一パビリオンなど独自の会場運営が話題を呼び、閉幕までの八十日間に、目標を大幅に上回る二六万人余の入場者がありました。博覧会終了後も、パビリオン中央館やJETタワー（展望塔）などは残り、太閤山ランドの拠点施設となります。

新たに県定公園を追加指定したほか、市町村が実施するまちのかおづくり事業などを積極的に支援しました。

花と緑の県づくりを推進するため、中央植物園の管理棟の建設に着手したほか、各市町村の専門植物園の整備に対し助成するなど、植物公園のネットワーク化を進めました。

県土の保全と活用

日本海ミュージアム構想を推進するため、富山新港西埋立地に海王丸パークと日本海交流センター

を開園式

水利用対策については、第一回全国川サミット開催に助成するなど、魅力ある水辺をつくりだす水環境整備計画を推進しました。また全国初の消流雪ダムである、布施川ダムと砺波山田川ダムが相次いで完成しました。

立山地域の保護と適正な利用を図るため、立山マウンテンピア構想の策定に取り組みとともに、全国初のナチュラリストバンクを設立しました。

交通・情報通信体系の整備

北陸新幹線については、八月に石動・金沢間の建設工事の起工式が行われ、県民の永年の悲願であった本格着工が実現しました。

三月に東海北陸自動車道の福光・小矢部砺波間が、また九月には富山北大橋がそれぞれ開通するなど道路網の整備を図りました。

富山空港については、来年四月の富山・ソウル国際定期便の開設に向けて、国際線旅客ターミナルビルの建設が始まりました。

情報化社会に対応できる人材の育成をめざし、情報工房を開設したほか、十一月には通信衛星を利用する高度情報通信ネットワークが完成しました。

国際化時代への対応

八月に、全国でも初めての試みとして、中国・韓国・ロシア各国の知事、地方政府の幹部を招へいしての富山国際地域交流シンポジウムを開催するなど、環日本海諸国との交流を積極的に進めました。

また、ロシア沿海地方よりクズネツォフ知事を迎え、友好提携を締結したほか、昨年友好提携を結んだアメリカ・オレゴン州で開催されたジャパンウィークに参加し、富山の文化や伝統芸能の数々



▲アメリカ・ジャパンウィーク 富山DAY 5/28

▲富山県・ロシア連邦沿海地方 友好提携調印式 8/26

▲北陸新幹線 石動・金沢間建設工事 起工式 8/27

▲東海北陸自動車道(福光・小矢部砺波間)開通式 3/28

▲砺波山田川ダム竣工式 8/31

▲海王丸パーク・日本海交流センター 竣工 7/5

▲国際青年の村'92 7/24~30



8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4																				
26	25	24	22	21	18	8	7	6	2	1	31	30	26	24	20	16	10	9	8	7	5	4	2	1	27	19	13	12	11	10	9	8	4	1	30	28	26	22	21	19	15	14	11	10	8	7	29	28									
おさかなセンター開所式	海王丸パーク・日本海交流センター竣工式	JETタワー開所式	富山県こどもみらい館開館式典	サンタ・マリア号寄港	秋篠宮同妃両殿下ご来県(11日)	エキスポとやま博開会式(9月27日)	全国知事会議	第一回立山マウンテンピア構想検討委員会	清子内親王殿下ご来県(26日)	国際青年の村'92(30日)	参議院議員選挙投票日	コンベンションシンポジウム	岩瀬スポーツ公園・健康スポーツドーム竣工式	第4回富山国際アマチュア演劇祭(6日)開会式	第一回県民スポーツ・レクリエーション祭夏季大会	融合化ヒューマン・ネットワークinとやま	世界そば博(9月6日)開会式	第一回全国川サミット	平成4年度全国中学校選抜体育大会(25日)	布施川ダム竣工式	国際伝統医薬シンポジウム富山'92(24日)	称名滝プロムナード完成式	富山国際地域交流シンポジウム	伏木富山港とウラジオストク港との友好提携調印式	全国集落営農推進サミット	富山県・ロシア連邦沿海地方友好提携調印式	知事のましまわり(新湊市)	第43回富山県植樹祭	富山県総合情報センター・富山県総合教育センター合同竣工式	「とやま賞」贈呈式	「看護の日」ふれあいトーク	第一回暴力追放富山県民大会	ワンダーランドとやまパフォーラム	北陸新幹線高岡・金沢間環境影響評価報告書説明会	知事のましまわり(八尾町、細入村)	エキスポとやま博50日前イベント	県営水見新漁港開港式	青年・婦人海外派遣団結団壮行式	アメリカ・ジャパンウィーク富山DAY	富山県高等学校総合体育大会(6月1日)開会式	県立中央病院新病棟オープン	県営富山中央駐車場竣工式	飛越協議会設立総会	富山県赤十字血液センター竣工式	土砂災害防止月間推進の集い全国大会	エキスポとやま博開幕1ヶ月前イベント	北陸新幹線建設促進富山県民協議会総会	富山県北陸新幹線対策連絡協議会総会	6月定例県議会(24日)	ターミナルケアフォーラム	ソウル便開設決定記念チャーター便出発式	県民スポーツ大学校開催(28日)	JETメイト結団式	とやまワンダーランド発足の集い	小境海岸CCZ「海辺のふれあいゾーン」開園式	エキスポとやま博総合完成式	エキスポとやま博総合結団式

冬空のペールを破り
舞い落ちる白い天使達のダンス
この地を清めろ
魔法のフルートの調べにのりながら

「散歩でーまーい」
控え目な冬の太陽が笑いかけてるよ
忘れかけた子供の詩にページをあくり直して
新しい一行のように足跡を残しながら



撮影／赤羽仁諭

PIN up TOYAMA

情報企画課

近年の通信技術・情報処理技術の発達に伴う高度情報化の波は、社会のあらゆる分野に押し寄せてきており、富山県においても産業・経済の発展、生活・文化の向上を通じて一層の飛躍を遂げるためには、新たな社会潮流である高度情報化社会への的確な対応が不可欠になっています。こうした状況の中で、情報企画課は、高度情報技術を積極的に活用する富山ならではの情報ネットワーク社会の実現を目指し、情報化推進のさまざまな施策に取り組んでいます。



レポーター・有沢久美子
(ミス宇奈月温泉)



情報工房で最新のパソコンにチャレンジ



浜松誠二情報企画課長

創造力あふれる 情報ネットワークの形成

銀行のCDサービス、コードレス電話からパソコン、ファクシミリによるオフィス・オートメーション(OA)化など、今や私たちの社会になくてはならない存在となっているニューメディア。今回はこうしたニューメディアが織りなす県内の高度情報化や県庁内部のOA化をより一層推進するため、四月に新たに誕生したばかりという情報企画課におじゃましました。

豊かな情報ネットワーク社会の実現 富山県高度情報化推進プラン

富山県において、情報化を推進する指針となっているのが昨年七月に策定された「富山県高度情報化推進プラン」です。ここでは、医療・福祉、文化・教育、観光、産業など、あらゆる分野を網羅した「豊かな情報ネットワーク社会の実現」という基本目標達成のために、「情報基盤の整備」、「情報システムの構築と活用」、「地域産業の情報化と情報産業の振興」、「情報化社会を担う人づくり」の四つの、施策の柱が掲げられており、情報企画課はこの施策を推進していく中心組織となっています。



基盤整備の具体例には、キャブテン(文字図形情報ネットワーク)情報の提供があります。現在は約百画面が提供されており、県民会館や県庁の県民サロンなどに設置されているキャブテン端末で公共施設の案内や観光情報を手軽に得ることが出来ます。富山県は、県民一人当たりの供給情報量及び消費情報量では、少供給・多消費型のいわゆる「情報依存県」として位置付けられており、今後は、大都市圏に一方的に情報の供給を依存することなく、富山県の地域特性を活かした情報を積極的に発信していくことが課題になっているそうです。

高度情報化社会の夢を体験 富山県情報工房

現在、パソコンの機能が文書や数値を処理するにとどまらず、AV(音声・映像)機器とも融合して、その利用可能性を大きく広げていることをご存知の方も多々と思います。日頃パソコンなどには殆ど縁がない私ですが、「誰でも簡単に操作できます。習うより慣れろ。ですよ。」という課長さんの励ましを受けて、実際に最新の情報システムを体験すること

ができるという「富山県情報工房」を案内していただきました。

情報工房は、今年の五月にオープンしたもので、パソコンを使った健康・献立評価、型紙作成、パソコン通信など様々な体験メニューが用意されている「体験ゾーン」、ワープロやパソコンをはじめたい人のための入門的研修を行う「研修ゾーン」、コンピュータ・グラフィックスやコンピュータ・ミュージックの創作、ビデオ編集ができる「創作ゾーン」、ハイビジョンで郷土番組や衛星放送などの鮮明な映像が鑑賞できる「交流ゾーン」の4つのゾーンで構成されており、高度情報化社会の夢を体験しながら、情報機器の利用技術の向上や情報化社会への理解が

深められる仕組みになっています。メニューがとて豊富で、初心者から専門家まで利用できるようになっており、私も職員の方の手ほどきを受けながら、アニメーション作成や音楽用パソコンにチャレンジしてみました。特に私のような初心者には、楽しみながら操作方法が身に付くという利点があり、またゆっくりと体験しに來たいと思いました。一部の機器の使用を除いては入場が無料で、将来の情報化社会を担う子供たちは勿論、日頃情報機器に触れることの少ない主婦層からも熱心な利用があるそうです。県民の情報機器の操作や情報利用能力の向上に大きな成果を挙げていることがうかがえました。



▲富山県情報工房

「以前は人間がコンピュータに使われていた面もありましたが、現在では人間の感性と結びついて創造的に駆使する時代へ変わりつつあります。ほんの僅か最新の情報機器に接してみたのですが、この情報工房の方の言葉がとても印象的でした。高度情報化社会とは、単に私たちの生活の利便性が向上するということのみならず、誰もが主体的に情報を活用し、その成果を活用しながら自分自身の可能性を広げていく、とても創造性豊かな夢のある社会だということが実感できたような気がしました。」

ふるさと みてある記 氷見市



いる氷見販売漁協の湊さん。「競りは昼ぐらいまで続きます」。その間、競り人は四十〜五十人の仲買人を相手に何時間も声を出し続けなければならぬからだ。

「一回の競りは五秒もかかりません。値段は水揚量や需給動向などいろいろな情報から考えるんで。競り棒を指し値段を言う仲買人がさっと手を

朝六時 競り人の声市場中に響きわたる 氷見魚市場 競り人 湊 久雄さん

氷見漁港には旬を彩る魚がたくさん水揚げされ、市場は一年中活気づいている。

「のとは三回以上つぶれてますね。翌日、腹筋が痛くなることもしばしばあります」とハスキーな声で語るのは、競り人を十八年間も務めて



わる。そんな光景が全部の魚がなくなるまで続く。「氷見は定置網漁が主なので魚種は多いです。これからおいしいのは、フクラギ、メジマクロ、カマス、アオリイカ、ヒラメ類などですね。湊さんは、富山湾に住む魚の名前はだいたい分かるという。

「氷見の魚は、保存状態がよいので、評判がいいんです。これからも、消費者に喜んでもらえるよう頑張ります」と

あげて売買は終

ひみの新しい顔 振袖さん 氷見観光パイオニアセンター



▲氷見商工会議所専務理事 山口久正さん
▲氷見観光パイオニアセンターが設立されたのは、

「振袖さんは、芸妓でも、コンパニオンでもミスでもありません。全く新しいタイプの仕事なんです」と語るのには、氷見商工会議所の山口久正さん。

「氷見は温泉地で、年間百万人が訪れますが、ただ景色をみて、料理を食べて帰るだけでは、文化や伝統など氷見の本当の良さを味わってもらえないんです。そこで、それをPRする役割を担う人が必要だと思ったんです。市や商工会議所のバックアップにより氷見観光パイオニアセン

昨年六月。振袖さんは、センターの社員としてイベントなどいろいろな所で活躍している。メンバーは現在五人。平均年齢は二十三歳だそうです。

「お茶、お花、踊り、一般教養……、いろんなことを学んでもらっています。一人ひとりがプライドを持ってこの仕事をしていますね。振袖さんは、華やかさだけでなく、教養も兼ね備えた女性達である。そして、氷見のいろいろな素晴らしさを、楽しく語ってくれる。

「まだ、スタートしたばかりですから、今後いろ

いと活躍の場があると思います。」

一大観光地をめざす氷見。振袖さんに対する期待は大きい。

▼いろいろなイベント(起舟祭)でも活躍



忍者ハットリくんが時を告げる

カラクリ時計「虹の橋」

テーマソングが流れ水煙や噴水が上がる中、忍者ハットリくんやケムマキなどおなじみのメンバーが次々と登場。忍術合戦など四分間の楽しいショーを見せてくれる所がある。



市民の憩いの場となっている。

今年八月、氷見の中心街を流れる湊川に、氷見市制四十周年を記念して、カラクリ時計「虹の橋」が架けられた。この橋にはハイテクを駆使したカラクリ人形が仕込まれている。氷見市出身の漫画家藤子不二雄(A)さんの代表作「忍者ハットリくん」のキャラクター人形が午前九時から午後七時まで一時間毎に動き出すのだ。いつもは静かな湊川周辺だが、時計のデジタル表示が「**：00」を示す頃になると、どこからともなく人々が集まり橋の両側を埋める。

最近では、観光バスのコースにも入り、すっかり氷見の新名所となっている。

橋の両側には、氷見の民話や由来の音が聞ける「二重らせんのエネルギータワー」とハットリくんの声で時刻を教える「天上

氷見市の概要

海上はるかに立山連峰を望む雄大な景観と豊かな海の幸、そして数多くの歴史的な文化遺産を誇っている。自然の魅力を生かした海洋スポーツ・レクリエーション基地の建設など、市の顔づくりに取り組んでいる。

六〇、一〇五人(十一月一日現在)
面積 二二九・七四km²



◀メディアタワー



▼エネルギータワー

にのびるメディアタワー」が建つ。川沿いの歩道もきれいに整備され、この周辺は市民の憩いの場ともなっている。

氷見を訪れた時には必ず立ち寄ってみたい場所がある。



「ゆっくり走ろう 雪のふる里 北陸路」

年末年始は、気ぜわしさに加え、降雪等による道路交通環境の悪化、飲酒の機会の増加などにより、例年交通事故が多発します。

次の4点を守って、年末を無事故で送り、笑顔で年始を迎えましょう。

1. 飲酒・暴走運転はやめましょう。
2. 積雪・凍結時の運転には気をつけましょう。
3. シートベルトをしましょう。
4. 迷惑駐車はやめましょう。



年末年始の交通安全県民運動
12月11日～1月10日

★富山県交通事故相談所

富山市新総曲輪1-7 県庁東別館1階
☎0764-44-4400

巡回交通事故相談所開設日時

相談場所	連絡先	相談日	相談時間
黒部市中央公民館 黒部市三日市1439	(0765) 54-0278	毎月第1月曜日	午前10時から 午後3時まで
魚津総合庁舎 魚津市新宿10-7	(0765) 24-5311	毎月第3水曜日	
新湊市役所 新湊市本町2-10-30	(0766) 82-8136	毎月第3金曜日	
氷見市役所 氷見市丸の内1-1	(0766) 74-8010	毎月第2火曜日	
小矢部市役所 小矢部市本町1-1	(0766) 67-1760	毎月第4木曜日	
砺波総合庁舎 砺波市幸町1-7	(0763) 33-5151	毎月第2金曜日	
滑川市総合相談センター(社協) 滑川市上小泉412の2	(0764) 75-7000	毎月第1火曜日	

(注) 巡回相談の開設日が祝祭日のときは翌日、翌日が土曜日のときは月曜日となります。

交通事故相談所●利用案内

交通事故のことで困っている方はおられませんか。県では、県庁内に交通事故相談所を設置して無料で、県民の皆さんの相談に応じています。保険の請求方法、過失割合、示談の進め方など、交通事故に関することなら何でも、お気軽に、お早めにご相談ください。公共の相談所として秘密は固く守ります。電話や文書による相談も受け付けております。

- 相談日 月(金(祝日、12/29、1/3を除く))
- 相談時間 午前8時30分～午後5時まで
- 弁護士相談 毎週木曜日 午後1～3時
- 巡回相談 左表のとおり

お聞かせください。 あなたの声(県政に)



富山県では、県政に対するご意見やご要望を、広く県民の皆さんからお聞きするため、県政モニターを募集しています。

- モニターの職務
県政に関するアンケートに回答していただくほか、県政全般にわたって、建設的な意見・要望等を随時提言していただきます。
- 募集人員・任期 50名・2年間(平成5年4月から)
- 応募資格
県内に居住する満20歳以上のかたで、県政に関心をお持ちのかた。
- ただし、公職選挙法による公職者、公務員及び県政モニター経験者は除きます。
- 応募方法・応募先
はがきに左記の記入例の要領でご応募ください。
- 締め切り 平成5年1月30日(当日消印有効)
- 選考結果
県政モニターになっていただく方には、3月下旬にご本人宛にお知らせします。
- 応募者多数の場合は、市町村・年齢・職業・性別などを考慮して選考します。
- 問合せ 県庁広報課 0764-44-3133

郵便はがき
〒91300
富山県庁
企画県民部広報課行

住所
氏名(ふりがな) 性別
生年月日
電話番号

「県政モニター」に応募します
1 職業区分・勤務先
2 各種モニター経験の有無
○年度△モニター
3 県政モニター応募の抱負
(50字程度)

職業区分/①農林・漁業 ②建設・製造業 ③商工サービス業・自由業
④主婦 ⑤無職



県民
カレッジ

テレビ放送講座
テーマ「風をみる 風をきく」

目では見ることのできない風の千変万化を気象、歴史、習俗、信仰、暮らし、芸術文化などの各面からアプローチし、さらに遊びや未来の姿にまで迫りながら、「富山の風」の正体を探ります。

◇番組視聴 局名 北日本放送(KNB)

番組名 「風をみる 風をきく」

日時 1月23日(土)～3月13日(土)

毎週土曜日 10:30～11:00

◇スクリーング

月日(曜)	時間	講師	会場
1月16日(土)	14:00～15:30	布村 弘	県民会館
3月13日(土)	10:00～12:00	久泉 迪雄	
	10:00～12:00		

●受講料 無料(ただし放送テキスト代等として千二百円必要)

県民カレッジ専門コース●講座案内

1月から、左記のとおり専門コースを開設します。資料代は五百円で、11月24日(火)より受講申込みを受け付けております。

テーマ	期日	曜日	時間	回数	定員	会場
生活の医学	1月11日	月	14:00～16:00	10	40	県民カレッジ
胎教から お経まで	1月7日	木	14:00～16:00	10	40	高岡文化ホール
とやま、 近代の人々	1月9日	土	10:00～12:00	10	40	高岡文化ホール

●問合せ・申込み・県民カレッジ ☎0764-41-8603(5)

平成5年度

富山県立大学入学試験を実施します。



工学部

●募集人員

前期試験	機械システム工学科	約24名
	電子情報工学科	約24名
後期試験	機械システム工学科	約40名
	電子情報工学科	約40名

●出願期間 (前期・後期試験)

平成5年1月25日(月)～2月2日(火)

●試験日

前期試験 平成5年2月25日(木)
後期試験 平成5年3月12日(金)

●試験科目

大学入試センター試験
国語・数学・理科・外国語
個別学力検査
数学・英語

●合格発表

前期試験 平成5年3月9日(火)
後期試験 平成5年3月22日(月)



短期大学部

●募集人員

農業技術学科生物生産専攻	約25名
農業土木専攻	約20名
環境工学科	約20名

●出願期間

平成5年1月29日(金)～2月5日(金)

●試験日

平成5年3月1日(月)

●試験科目

数学・理科・英語

●合格発表

平成5年3月9日(火)

問合せ先 入学試験実施本部

☎0766-56-7500



平成4年工業統計調査の実施について

通商産業省では製造業を営む事業所を対象に、平成4年工業統計調査、石油等消費構造統計調査を実施します。

両調査は全国一斉に行なわれ、わが国の工業、エネルギー消費の実態を明らかにし、今後の施策の基礎資料となる重要な調査ですのでご協力をお願いします。

調査期日 平成4年12月31日現在
調査方法 調査員証を携帯した調査員が各事業所を12月下旬に訪問し、調査票の配布収集をします。
なお、収集された調査票の内容は秘密とされ統計作成以外の目的には使用されません。
この調査についてのお問い合わせは、市町村統計主管課、または、富山県庁統計課商工係(☎0764(31)4111内線3386)へお願いいたします。

今年の税金は、今年のうちに

—12月は納税強調月間です—

そろそろ年の瀬も迫ってきましたが、まだ県へ納め忘れの税金はありませんか。もし、ありましたら、お手元の納税通知書又は納付書をご持参のうえ、最寄りの金融機関又は県税事務所でお早目に納めてください。

なお、12月29日(火)から1月3日(日)までの間、県税事務所の窓口業務を休ませていただきます。年末に税金を納められる方は、金融機関をご利用ください。

県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所で納めてください。

●県税の所管区域図(平成4年4月1日現在)



県税の取扱い・相談は

県税についての相談や苦情がありましたら、お気軽に下記の県税事務所までご連絡下さい。

事務所等	所在地
富山県税事務所	富山市舟橋北町1-11 ☎(0764)41-2551
自動車税センター	富山市新庄町馬場39-6 ☎(0764)24-9211
高岡県税事務所	高岡市赤祖2 211 ☎(0766)21-9411
魚津県税事務所	魚津市新宿10-7 ☎(0765)24-5311
砺波県税事務所	砺波市幸町1-7 ☎(0763)33-5151
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111

★国の税金は税務署へ
市町村の税金は市役所または町村役場へ

家庭児童相談室のご案内



子どもや家庭のことについて、悩みごと、困りごとはありませんか。最寄りの家庭児童相談室に、お気軽にご相談下さい。

子育てや児童福祉の経験豊かな相談員が、ご家族の皆さんとともに、家庭の立場からよりよい解決策を考えます。

家庭児童相談室は、市役所または県総合庁舎にある社会福祉事務所内に設置されています。

相談時間は、平日9時半から午後4時までです。(時間等は、相談室により異なる場合があります。)

相談は無料です。

電話や手紙での相談にも応じます。

相談内容など秘密は固く守ります。

お問い合わせは、最寄りの家庭児童相談室(☎市役所・県総合庁舎代表番号)または、県庁児童家庭課(☎0764-44-3208)まで。

今年も余すところわずかとなりました。年の瀬は、何かと気ぜわしく、いろいろな犯罪や事故の発生しやすい時期となります。

警察では、この時期、皆さんの安全を守るための特別警戒活動を実施することになっていますが、皆さんも犯罪や事故にあわないよう次のことに気をつけて下さい。

- ポルナスなど大金は家に置かないようにし、やむを得ず家に置く場合は、泥棒に発見されにくい場所に小分けして保管しましょう。
- ひったくりなどの被害にあわないよう、外出の際、バッグ等はしっかりと抱えて持ち歩きましょう。
- ポルナスを狙った粗悪品の販売や詐欺的商法などに十分注意し、不用意に契約したり、集金人を装った者に不用意に現金を渡すことのないようにしましょう。



犯罪を防ぎ年の瀬を安全に

- 10月11日 丘の夢牧場ビーフフェア'92
- 10月12日 全国防犯運動富山県大会
- 10月13日 新川文化ホール(仮称)起工式



- 10月14日 高齢者雇用促進大会
- 10月15日 第15回富山県こどもフェスティバル開会式
- 10月16日 県営高岡プール(仮称)起工式
- 10月17日 特産王国とやまフェスティバル(~18日)



- TOYAMA バイオフェア'92 (~18日)
- 10月21日 いきいきとやま第5回健康と長寿の祭典 (~22日)
- 心豊かな長寿社会を考える集い富山県大会
- 10月22日 高齢福祉サミット
- 第2回富山県国際ウェルネスシンポジウム
- 10月24日 第32回富山県デザイン展(~26日)
- 10月25日 富山県知事選挙
- 10月26日 とやま21林業担い手対策委員会
- 10月29日 富山県勤労者美術展(~11月1日)開会式



- 10月30日 職業能力開発フェア(~31日)
- 第20回花と緑の大会
- 11月2日 平成4年度富山県功労表彰式
- 11月4日 県議会臨時会



- 11月5日 富山県人材確保対策本部会議
- 湯谷橋竣工式
- 11月8日 第10回富山県駅伝競走大会
- 11月10日 富山県農村文化賞表彰式

富山県埋蔵文化財センター

企画展「富山の石斧」

県内の遺跡から出土したいろいろな石斧を通して、富山県の原始時代の人々の生活の様子と石斧の果たした役割を探ります。あわせて近年の発掘調査の速報展を行います。

〔期間〕 平成4年12月8日(火)から
平成5年5月28日(金)まで
〔休館日〕 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12/28~1/4)
〔入館料〕 無料
※詳しくは、富山県埋蔵文化財センターへ
(☎0764・34・2814)



平成5年1月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
5	火	富山市役所前	10:00~16:00
6	水	高岡市役所前	10:00~15:30
7	木	砺波市役所前	10:00~15:30
8	金	小矢部市役所前	10:00~15:30
15	金	富山市富山西武デパート前 JR高岡駅前	10:00~16:00 10:00~15:30
17	日	富山市富山西武デパート前	10:00~16:00
18	月	入善町役場前	10:00~15:30
23	土	魚津市魚津「サンプラザ」ショッピングセンター前	10:00~15:30
29	金	宇奈月町役場前	13:00~15:30

◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

(応募要領)

- ①白黒、カラープリント(スライドは除く)で、サービスクラから4ツ切りまで。
- ②1人何点でも応募できます。
- ③応募作品は返却しません。
- ④作品の裏には、題名、撮影場所(国内に限る)、撮影年月日、住所、氏名、年齢、職業(学生の場合は、学校名、学年)を必ず明記して下さい。

(応募締切) 平成5年1月15日

(問合せ) 県庁都市計画課 ☎0764・44・3346



私のまち 写真コンテスト

人々が働き、学び、憩い集うまち。まちは人々の生活の場です。いきいきとしたゆとりとやすらぎのあるまちを創るためには、まちの主人公であるあなた自身、「わがまち」に対する関心を深めることが大切です。

いま、「まちの表情や、まちを舞台とした人々の活動」をテーマとした写真を募集しています。みなさんもこの機会に「わがまち」を見つめ直してはいかがでしょう。

文化施設の無料開放について

富山県では、平成4年9月から、美術館等の文化施設を利用した学習活動の活発化を図るため、社会教育関係団体の責任者が、社会教育活動として児童、生徒(小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、養護学校)を引率して県の文化施設(近代美術館、立山博物館、内山邸、金岡邸)に入館するときは、引率者も含めて児童、生徒に係る常設展示観覧料又は見学科を免除しています。

また、学校週5日制の導入に伴って学校休業日となった第2土曜日における児童、生徒の個人での文化施設の入館について、常設展示観覧料又は見学科を免除しています。

詳細は、各文化施設にお問い合わせ下さい。

「春の七草をさがそう」

自然と共に生きた先人の知恵を学び、正月の七草粥に入れる春の七草を探し、七草粥を試食しませんか。

ねいの里行事

※詳しくは、自然博物園ねいの里
(☎0764・69・5252)まで

(日時) 12月23日(祝)午前9時から
(場所) 婦中町音川地内
(参加費) 無料ですが、七草粥の材料費は100円です。
(集合場所) 婦中町いこいの村駐車場
(申込み締切) 12月20日(日)まで



表紙 撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
 表2 エッセイ/八木 孝子
 P1 ひと/竹内 綾音
 P2 クロゾアツブ
 ① 丘の夢牧場ビーフフェア'92
 ② TOYAMAバイオフフェア'92
 ③ 高齢福祉サミット
 ④ 第26回職業能力開発フェア
 特集/県政、この一年
 P6 PIN UP TOYAMA
 P12 撮影/赤羽 仁論
 P14 県庁探訪/情報企画課
 P16 ふるさとみである記/氷見市
 P18 県からのお知らせ

○十月十六日、県立総合衛生学院の戴帽式が行われました。半年間の研修を経て、新しいナースキャップを戴いた一年生九十六人は、一人一人手にしたキャンドルの炎を静かに見つめながらナイチンゲール誓詞を斉唱し、看護の道に進む誓いを新たにしました。



みなさんの相談窓口

交通事故については
 富山県交通事故相談所東別館1階
 ☎(0764)31-4111内4400

相談110番
 家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
 ☎(0764)32-0110

シルバー110番
 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14
 社会福祉会館内
 ☎(0764)41-4110

消費生活については
 消費生活センター
 富山市安住町7-18
 安住町第一生命ビル内
 〈一般相談は〉
 ☎(0764)32-9233
 〈金融相談は〉
 ☎(0764)33-3252

消費生活センター高岡支所
 高岡市本丸町7-1
 本丸会館内
 ☎(0766)25-2777

県政については
 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
 ☎(0764)31-4111代
 31-3131(県民相談電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
 ☎(0766)21-9411代

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
 ☎(0765)24-5311代

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
 ☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル
 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
 ☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

県からのホットニュース、見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV

テレビ広報
 ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45
 「志の輔のふるさとトーク」
 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
 「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス・イン」
 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30
 「こんにちは富山県です」
 12/6 ストップ・サ・交通事故
 12/13 充実する在宅福祉
 12/20 エクスポとやま博特集〜感動の80日を振り返る〜
 12/27 県政のこの一年

RADIO

ラジオ広報
 ●FMとやま
 「ふれあいホットライン」
 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
 毎週月〜金曜日 AM9:40~9:45

NEWSAPER

新聞広報
 ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
 毎月第2、最終土曜日
 「県からのお知らせ」

今話題の魚

さすが越中鮎

――久しブリのニュースから――

県民カレッジ制作「ブリを待つ海」が、平成四年度自作視聴覚教材コンクールで、最優秀の文部大臣賞に輝き、十二月二日に表彰される。また、本年度北日本新聞広告賞・大賞に『春三夏六秋一無冬――越中ブリのヒミツは塩だった』(日立製作所)が決まった。

審査委員長の総評に「大賞作品を鮮魚商に見せたら、このままの大きさ、新聞一頁大とすれば、約2・5kg、フクラギですね。昔は10kg以上を鯛、今は8kgで鯛だから鯛が小さくなった。この版画は、口が小さい・鰓が張っていない・や、腹が出ているから現代風の鯛か。一般の人が見て鯛だと思えばこれで十分では」とまずは合格となりました。云々」とある。

切絵調のブリを紙面の真中にどかんと置き、白黒で大きめに描かれ、背に青緑一色。印象が強く、広告大賞も宜なるかなと感心……だが、どこか変だ。私には、ブリではなく、モデルはマグロに見えて仕方がない。

ブリとマグロは、体形はともに典型的な紡錘形で、各鱗の形状・尾鰭が鎌形など、似た点が多い(絵参照、上・ブリ、下・マグロ)。

ブリは、アジ科の魚で、鰾の前方に2本の棘をもつのが特徴、広告大賞作品にはこれが無い。

一方、マグロはサバ科で、背鰭と鰾の後に「離鰭(りき)」をもつが、広告大賞作品には上・11、下・7と離鰭が画かれてある。ブリ・マグロともに背鰭は第一・第二と2基あるのに、広告大賞作品には第一背鰭がない。

一見ブリらしいが、実はマグロに近い魚と思えば、「科学(下学)で絵をせんさくすること自体おかしいのかも考えたりする。

富山湾に冬の到来を告げるブリの初漁の報道――十月二十九日、(これは昨年より一週間早い)七尾沖定置網に四支魚・80cm・8kg一本、kg当り浜値二千円也。

ところで「越中鮎」として有名なのは、○北海で飽食し脂がのって最も美味しい時期。○外界は天然の冷蔵庫、社会は歳末贈答期。ブリは成長とともに呼び名がかわる「出世魚」であることも、おめでたい。

ブリは、年ふるからブリなのか、脂(あぶら)がのってぶりぶりだから、ブリか。《鮎》は国字で、師は老・大の意である。鮎こそは、師走の味覚である。

「まくれ寄る 荒波寒し 困い船」。



ブリ



マグロ

絵・文 津田武美

編集後記

④この度、編集長に抜擢?された。これからは親しまれ愛される広報誌をめざしてがんばりますので皆様よろしく願います。(K)

⑤原稿を書くスピードがめつきり落ちた。簡潔でよい表現がなかなか浮かばないのである。原因は語彙の不足であることは明白だ。語彙を増すために本でも読もうかと思いが続かないので、最近、高校の現代国語の教科書にある短い文章を眺める毎日である。(A)

⑥20代最後の原稿、20代最後の編集後記、20代最後の……。ドリアン・グレイ症状に苛まれる秋の夜長、「やるっきゃない」と突然始めた腹筋運動は体力のおとろえを冷酷に知らせるのみ。一人憂鬱に迎えた誕生日です。(M)



いきいき富山冬の旅観光キャンペーン

H4・12・15(火)～H5・3・15(月)

寒い冬の中、 ホッとやま見つけた!

暖かい人、暖かいもてなし。

県内各地で寒い冬を吹き飛ばすイベントが目白押し。

あなたも様々な冬の玉手箱を開いてみませんか。

2月12日(金)～14日(日)
利賀そば祭り
(利賀村)



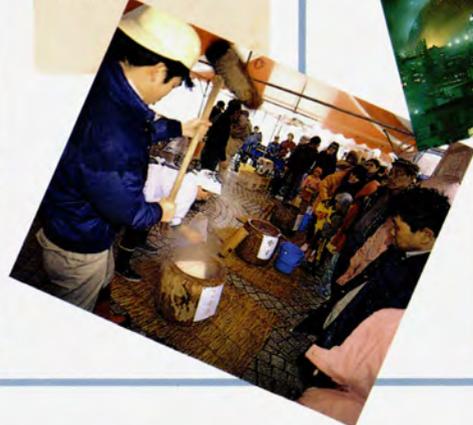
12月15日(火)～2月11日(木)
とやまスノーピアード'93
(富山城址公園ほか)



1月16日(土)～17日(日)
いきいき富山日本海なべ祭り
(高岡テクノドーム)



2月13日(土)～14日(日)
庄川もちもち遊楽
(庄川町)



2月6日(土)～7日(日)
宇奈月温泉
雪のカーニバル
(宇奈月温泉)

